

近畿地区数学教育協議会 第51回冬期研究集会（オンライン開催）のご案内

2021年10月18日

学 校 長 様
算数・数学科教員様
研究者・父母・学生様

近畿地区数学教育協議会委員長 阪田祐二

近畿地区数学教育協議会では、「わかって楽しい算数・数学の授業」を目指して、日々研究を重ねています。今回の冬期研究集会は新型コロナウイルス（COVID-19）感染防止の観点からオンラインで開催します。本研究集会では、全体会での基調提案を通じて、現在の教育現場の課題を考え、さらに、校種別分科会での実践報告を通じて、その課題にも対応しつつ、児童・生徒の算数・数学への理解を高める授業づくりについて研究討議をしたいと考えております。なお、特別支援、小学校、高校の分科会については、サテライト会場を設置しております。オンラインでの参加が難しい場合は、感染症対策に留意してサテライト会場にてご参加ください。では、職場の仲間とお誘いあわせのうえ、多数のご参加をお待ちしております。

記

【申し込みはこちらから】

- 日時：2021年12月26日（日）13時～17時00分終了（予定）
- 参加費：無料

校種別分科会のサテライト会場	特別支援・小学校 [奈良教育大学附属小学校] 小学校・高校 [和歌山信愛大学]
----------------	--



12:00	近数協冬期研究集会運営サイトから、全体会ミーティング、校種別分科会ミーティングへの接続確認 Zoomで表示される名前は「府県名・名前・所属校種（特別支援、小学校など）」で表示してください。
13:00	全体会ミーティング：近数協委員長挨拶、事務連絡 基調提案（原啓司・和歌山） 「今、学校現場がかかえる課題と、数教協がめざす実践とは～小学校長の立場から考えること」
14:10	近数協冬期研究集会運営サイトから校種別分科会ミーティングへの接続
14:30	校種別分科会 (特別支援) 形の学習－実践報告（兵庫・平沢崇）、テトロミノ（滋賀・川村和人）、A君の報告：2桁の数を学ぶ（兵庫・木村良夫）、特別支援のお金の教育・量感を伴う学びの重要性（奈良・拝郷万里） (小学校) 倍・割合の徹底討論～基礎知識から指導理論まで～（近数協小学校サークル） (中学校) 約数の個数に不思議な法則はあるのか?!（三重・伊藤徹哉）、読み解く力を高め、数学の資質・能力を育む授業研究～中学2年 一次関数の利用～（滋賀・北川智明）、Geogebraを使った2次関数の移動（京都・大橋成介） (高校) ピタゴラス数と複素数（大阪・杉野修三）、二項分布の正規分布による近似（和歌山・嶋田佳一）、オンライン授業を振り返って（和歌山・加納秀記）
17:00	

- 申し込みについて
Google フォーム <https://forms.gle/W4QB9ohwQmwM6iqDA> から、12月18日（土）までにお申し込みください。右上の掲載のQRコードからも申し込みフォームに入れます。または、右下に掲載のQRコードから、数学教育協議会のHP [http://ami.to] から申し込みフォームに入れます。
- 近数協冬期研究集会運営サイトについて
12月20日（月）以降に、申し込まれた方の連絡先のアドレスへ近数協冬期研究集会運営サイトのURLを送付します。

■近数協事務局■ 〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34-C613
京都橋大学発達教育学部 児童教育学科 西村徳寿 TEL：075-574-4280 FAX：075-574-4122
E-mail：nishimura-t@tachibana-u.ac.jp

